

人物図鑑

ねむろを愛する
素敵な人たち



「新しいカレンダーに描かれた鳥は
みんなの夢、それとも希望？」

厚床小学校6年生の皆さん

「木版に書いた下絵に向かって、出来上がりを考えながら彫る部分と彫らない部分を決めるのが難しかったです」と、代表して話してくれるのは、学級長の松浦未郁（みゆ）さんです。

市立厚床小学校では、6年生全員で版画の愛鳥カレンダーを作るのが新年を前にした恒例行事になっています。

厚床小の愛鳥教育の歴史は古く、昭和61年に、自然に恵まれた学校周辺で活動を開始し、PTAのお父さん達が整備してくれた木道や観察小屋で、親子野鳥観察や巣箱かけなどを実施。昭和63年には、北海道知事から「愛鳥モデル校」に指定されました。

「カレンダーには、シマフクロウやタンチョウ、ハクセキレイなど、根室に来る鳥を中心に、全員が違う鳥を選んで下絵を考えました」。

カレンダー作りは、6年生9人が「下絵、彫り、刷り、製本」の全工程を手掛け、色刷りでは、完成品130部を目指してひたすら刷り続けました。赤や緑、青、オレンジ、黄色など、色彩豊かな作品が、教室や廊下に所狭しと干されています。

「北方領土の子ども達に、心を込めて彫った鳥の絵をよくみてほしい」。カレンダーは、平成2年版から毎年作成され、平成14年版からは国後島の親日団体「ロクニ会」（ロシアとニッポンをつなぐクナシリ）との間でカレンダー交換も行なわれています。

厚床小学校の玄関には、歴代の先輩方が苦労して作ったカレンダーが、生徒のネームプレートとともに展示されており、2007年版の自分たちの作品が飾られる日を心待ちにしています。

【カレンダーを作った6年生】

伊藤志織（いとうしおり）

井上泰斗（いのうえたいと）

上田志乃（うえだしの）

清田真帆（きよたまほ）

佐々木博美（ささきひろみ）

広瀬 愛（ひろせまな）

松浦未郁（まつうらみゆ）

宮西真人（みやにしまさと）

森端基暉（もりばたもととき）